

大音生活にもっと“キラリ”を♪

MUSE

[ミュージック]



Vol.234
June
2015

- 14 MUSE CONCERTO
晴 雅彦 [声楽・教授]
- 15 新任教員紹介
- 16 DAION PICK-UP NEWS
(財)日本高等教育評価機構より
大学評価基準および短期大学評
価基準「適合」の評価を受けました。
»詳細は16ページ
- 20 下手の考え休むに似たり
—学長日記

04 新専攻スタート特別企画

感じたい! 達人たちの

音楽でつなぐ力、 音楽をつくる力。

MUSE

June 2015
Vol.234

音楽でつなぐ力、音楽をつくる力。

学校法人 大阪音楽大学 広報課 MUSE | vol.234 | 2015年6月15日発行 | <http://daion.ac.jp>
発行: 学校法人 大阪音楽大学 〒554-8585 東京都中央区新富町1-1-8 TEL: 06-6334-2204 FAX: 06-6334-2141
制作: 編集: 広報課 muse@daion.ac.jp 制作協力: 印刷: (株)高橋デザイン

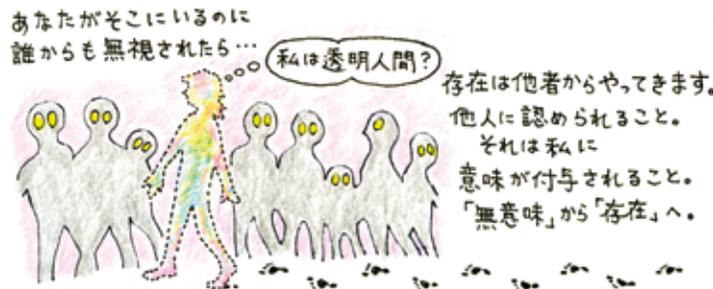
大阪音楽大学

リニアモーターカーには運転手は必要ないそうです

インターネットの普及に伴って、他人との接し方が変化しています。直接顔を合わせることなくつながることができることにより、誰もが「引きこもり」になったというか、孤立しているという状況が生まれています。ネットにつながってはいるのだけれど、それはヴァーチャルつながりでリアルではない。一人ひとりとはたこつば化し、自らの存在感を感じられない。人間としての存在自体が危うくなっています。

私たちは他者からの承認によって自己形成していきます。他人から承認され受け容れることによつて自らの存在と生きる意味を実感します。そして、他者との関係は身体の媒介なしには始まりません。しかし、もはや止まることを知らないテクノロジーの進展の中にあつて、人間はその非人間的なテクノロジーのシステムに依存して生きざるをえないのが現実です。システムは自動的に自らを正確にオペレーションする。ここでは人間はシステムの正確な運用を妨げるノイズになつたりします。「覚醒剤やめますか?それとも人間やめますか?」というコピーがありました。人間はシステム化された社会に寄生するバグに成り下がってしまったかのようです。

近代はデカルトの「物心二元論」から始まりますが、ニュートンの古典物理学的世界像の確立とともに、全ての現象が原因と結果の連鎖ととらえられ、現代では生命はデオキシリボ核酸という化学物質に還元され、人間の精神や心でさえ脳の認知機能としてコンピュータモデルで理解することが日常的になりました。しかし、私たちは身体を持ち、身体で世界を認識し、身体で世界に働きかけ現実に対峙しています。私たちの精神や心、意志は、どこにあるかわからないし、どこにもないのかもしれませんが身体と不可分です。そして、身体を生きるということは時間の中で生きるということです。そして、音楽は時間芸術です。今こそ私たちは自らの人間としての存在を取り戻さないといけない、と私は強く感じています。そのために、音楽は力強い助けになります。精神や心を、そして身体を取り戻すことが、取りも直さず人が人らしく生きることにつながります。



Cosmo Writs

文・イラスト 武藤 好男



© 飯島 隆

佐渡裕芸術監督企画による プロデュースオペラ

兵庫発のオペラプロジェクトとして、オペラ鑑賞の初心者から楽しめる親しみやすい演目選びや入場料を低価格に抑えらるといった工夫で新しいオペラファン層を開拓してきました。05年の「ヘンゼルとグレーテル」を皮切りに、県内ツアーなども含めこれまで10作品延べ107公演を行いました。

PHOTO▶コジ・ファン・トゥッテ(14年)



兵庫県芸術文化センター 管弦楽団(愛称 PAC オケ)の活動

国内外からオーディションで結集した若手演奏家によるオーケストラ。プロオーケストラとしては例のないアカデミー機能を有し、メンバーは原則3年で入れ替わります。「わくわくオーケストラ教室」では県内の中学1年生全員に本格的ホール・オーケストラ演奏に親しむ体験学習の機会を提供しています。

PHOTO▶わくわくオーケストラ教室

これだけはやっておこう！

小さい場面でもいいので、パフォーマーと観客をつなぐ役割に一度関わってみること。自分が来てほしいお客様に向けてどうアプローチが効果的か自分の頭で考え、終わったらお客様にどう伝わったかを必ず検証する。当事者としてどんな準備をすれば満足感が高かったか、実践の場面に参加して体験してみることが大事です。

新専攻に「ひとこと」

これまでアカデミックな場でこういうことを学ぶ学科はありませんでした。若い時期から専攻として学生の視野を広げていくことは社会的に意義があることだと感じます。自分の行きたいベクトルを見つけやすくなることは、学生にとってもプラスに作用するのではないのでしょうか。

NOBUMITSU HAYASHI

72年、朝日放送株式会社に入社。事業部でクラシック音楽やポップス系の主催事業、ジャズ・フェスティバル、甲子園球場での野外音楽フェスティバルなど幅広いジャンルの音楽事業を担当する。82年からはザ・シンフォニーホール担当となり、03年まで21年間、年間80~100の音楽事業をプロデュースする。03年10月から現職。

音楽と地域をつなぐ、 さまざまなイベントをプロデュース。



幅広いニーズに応える上演、 質の高いさまざまな舞台芸術の提供

コンサート、オペラ、バレエ、演劇など芸術文化の発信拠点として、芸術性豊かなものから親近感に富むものまで、国内外のアーティストによる多種多様な公演を企画・主催しています。06年には開館1周年を記念し、世界が誇るオペラハウス、メトロポリタン・オペラによる「椿姫」を上演しました。

PHOTO▶メトロポリタン歌劇場「椿姫」(06年)

地域に愛され、 親しまれる劇場の実現

未曾有の東日本大震災の発生を受け、同じく大震災を経験した兵庫県のホールとして被災者の健康と安全、また一日も早い復興を願い、震災1か月後の11年4月に「大震災復興祈念演奏会」を開催。4月8日から4月14日の1週間を「東日本大震災復興祈念ウィーク」と位置づけ、復興のつどいや支援コンサートなど様々な取り組みを実施。ウィーク終了後も年間を通じて大震災の被災者支援活動に取り組みました。

PHOTO▶
東日本大震災復興祈念ウィーク
「復興祈念のつどい」



とのない、黒子の役割です。公演が終わった後のお客様の輝いた表情、心からお芝居や演奏会を楽しめたよ、ありがとと言っていただけのこと。また、芸術家も喜んでくれる、そういう瞬間に出会えたらアートマネージャーにとって最大の喜びになります。

昨年、日本クラシック音楽事業協会が東京で開催したアートマネジメントの実践講座は1000人の定員がすぐに埋まり、この分野への社会的な関心の高まりを実感しました。芸術家とお客様をつなぐ役割と言ってもその立ち位置はさまざま。世界トップクラスの劇場から市民団体まで、すそ野が綺麗に広がった富士山型の構造が理想形です。そういう意味で、今後は芸術家以上にアートマネージャーが重要になってくると感じています。

“芸術家とお客様をつなぐ
仕組みづくりが醍醐味。”

Power
of
Music

音楽でつなぐ達人

ミュージックコミュニケーション専攻

1

[アートマネージャー]

兵庫県立芸術文化センター・
ゼネラルマネージャー

林 伸光 さん

「世界一のお客様をお迎えする劇場を実現しよう」——兵庫県立芸術文化センターが設立される際、芸術監督の佐渡裕さんから頂いた言葉はアートマネージャーとしての私の活動の核になっています。

「世界一のお客様」とは、単なる聴衆ではなく芸術家と一緒に自分たちも音楽に参加するような、芸術家と熱い一体感で結ばれているような観客のこと。そういうお客様をお迎えするためにアートマネージャーに求められることは、優れたオペラを上演する、日本で初演となる曲目を取り上げるなど、芸術家と共に公演を「つくる」ことはもちろんですが、お客様と芸術家を「つなぐ」こと、そして子どもたちをはじめとする潜在的な観客に「ひろげる」こと。この3つのバランスが必要になります。

佐渡監督は「音楽は心のビタミン」とも言います。即効性はないけれども、長く飲み続けることで健康に寄与するビタミン剤のように、音楽も長い時間軸で向き合うことが大事です。一つの音楽会を一度性で終わらせず、芸術家とお客様がずっと出会う仕組みづくり。これが私たちの仕事の難しさであり、醍醐味でもあります。

私たちの仕事は表舞台に出るこ

これだけはやっておこう！

「生」の演奏をたくさん聴くこと。生で聴くと新たな解釈の発見もあるし、曲自体の発見もあり、曲に対する理解が全然違ってきます。一流のところをつまみ食いするのではなく、いい演奏も悪い演奏も生でたくさん聴いて、名前や肩書きにとらわれずに、いい音楽を聞き分ける「プロの耳」を養ってほしいと思います。

新専攻にひとこと

音楽イベントをプロデュースする仕事は本当に大事。企画を発想するためには背景を含めて音楽のことを幅広く知る必要があります。授業だけではすべてを身に着けることは難しいかもしれませんが、そのとっかかりとして知識の積み重ねを実践的にやっていくのは音楽業界にとってもすごく望まれることではないでしょうか。

今から20年ほど前、情報を世界中にタダで発信できるインターネットが出てきたときに「メディアの役割って何だろう」と考えたんです。今でも「放送って意味がなくなっちゃうんじゃないか」という危機意識は常にありますが、自分なりに導き出した答えは「メディアの役割はフィルターになること」でした。

インターネット上の情報は玉石混交です。有益な情報、有害な情報の判断は利用者側に委ねられますが、適切な判断力を持った人ばかりとは限りません。メディア、少なくとも私の仕事は自分の耳で聴いて「発信する価値があるもの」のフィルタリングをすること、そこがすごく重要な役割であり、やりがいでもあると思っています。雑誌や新聞などさまざまなメディアがある中で、「いいと思う音楽」を音や映像でそのまま伝えられることがテレビやラジオのアドバン

HIROKO KAWACHI

桐朋学園大学ピアノ専攻を卒業後、制作会社でソフト制作や営業に従事し、2年後にボリグラム株式会社(現、ユニバーサルミュージック合同会社)入社。クラシックス&ジャズ部で海外レーベル商品の国内盤編成や、日本人アーティストの契約、アルバムや楽曲制作、マーケティングなどに携わる。

“素晴らしい音楽を1人でも多くの人に届けたい。”

Power Music
音楽でつなぐ達人
ミュージックコミュニケーション専攻

②
[レコード会社スタッフ]
ユニバーサルミュージック合同会社
クラシックス&ジャズ マネージング・ディレクター代行 兼 ジャズ部 部長
川内寛子 さん

“発信する価値があるものを聞き分ける「フィルター」になることが役目。”

Power Music
音楽でつなぐ達人
ミュージックコミュニケーション専攻

③
[音楽番組制作]
NHK 大阪放送局
制作部 チーフ・ディレクター
浅利 洋 さん



YO ASARI
大学卒業後、89年にNHK入局。以来、クラシック番組制作を中心に東京、名古屋、大阪で勤務。名古屋時代には「NHKの自慢」の制作にも携わる。現在はNHK-FMの「リサイタル・ノヴァ」(日曜20:20~20:55)、BSプレミアム「クラシック倶楽部」(月曜~金曜5:00~5:55)などを担当。



1. テレビ収録用にカメラ割りを記入した楽譜。楽譜で事前にカメラ割りを記入し、台本に書き写してカメラマンが収録時に使う。2. フェスティバルホールで実施された大阪フィルハーモニー交響楽団の収録。最新鋭の中継車をバックに。3. スタジオでの“完プロ”作業。収録した音源を編集し、ナレーションなどを入れて放送できる状態に仕上げます。



川内さんが関わった作品の一部。小澤征爾さんのニュー・イヤーズ・コンサートを収録したCDが80万枚以上売れたときは「クラシックでミリオンヒットが出せる喜びを感じた」

ひと口に「レコード会社スタッフ」と言っても、アーティストの発掘・契約業務からプロモーションの計画、アルバム制作に関わる各方面との調整など、その業務は非常に多岐に渡ります。国内のアーティストの場合は作品にゼロから関わるため、音楽プロデューサーやレコーディングプロデューサーといった制作者の側面もありますが、いずれの立場においても「アーティストが発信したい素晴らしい音楽を、一人でも多くの人に届けることが仕事です」。

仕事の結果は売り上げなどの数字に表れますが、自分がプロデュースしたアーティストのアルバムは特に、その数字以上に「たくさんの人に届いている」ということがうれしいですし、アーティストとお客様をつないでいる実感が私たちの喜びになります。

純粋なクラシックやジャズだけでなく、それらの要素を取り入れた「クロスオーバー」な音楽も増えてきました。12年に演歌歌手の八代亜紀さんがジャズを歌うCDを発表した際にはコアなジャズファン以外にも関心が広がっていく実感がありましたし、フィギュアスケートで使われる曲のコンピレーションアルバムが売れると、「クラシックやジャズは敷居の高いものではない」「この仕事をやっていてよかった」と確信が持てました。

私たちの会社では「人を愛し、音楽を愛し、感動を届ける」ことを念頭にそれぞれの仕事に取り組んでいます。いい音楽を聴いて、明日も頑張ろうと元気になる——これが音楽の持つ力だと思っています。音楽業界で働くためには、その力を発信したいという気持ちが大切。何事にも興味を持ち、成功も失敗も楽しめる人が向いているんじゃないかなと思います。

これだけはやっておこう！

現実的な話ですが「語学」。海外アーティストやレーベルとのコミュニケーションの手段として、英語は必須ですね。また、音楽大学で学ぶ間は自分の専攻に偏りがちになります。意図的に自分の楽器以外、もしくはジャンル以外のところに目を向けて興味の幅を広げておいた方がいいと思います。

新専攻にひとこと

学問の場である大学に実地が入っているのは非常に合理的だと感じます。特に音楽の世界は「一生勉強」が前提で、進路をどう定めるのが難しかった。その中で音楽を生きていく糧にするためのネタがいっぱい詰まった専攻は画期的。私たちも期待をしていますし、学生にとってもメリットは大きいのではないのでしょうか。



アーティストのレコーディング作業にも立ち会う。サラ・オレインのレコーディング中のひとコマ。

映画を見る人の感情を わしづかみにできるのが音楽

映画「舟を編む」の石井裕也監督と、劇中曲の作曲を担当した渡邊崇特任准教授(2016年度就任予定)が対談。映画の中で音楽が果たす役割や制作者の思いを語っていただきました。

渡邊 映画を見るときに音楽を意識する人ってあまりいないと思うんですけど、映画の作り手は徹底的に細部まで作りこみますよね。石井 映画って、結局は音楽や音なんです。すごくきれいな映像だけを2時間見せられても感動しないでしょ？ ストーリーを追えば、理屈として面白さがわかるのかもしれないけれど、感情をわしづかみにされることはない。でも、セリフも含めた音と音楽にはそれができるんです。脚本を作りながら音楽を作って、撮影しながら音楽を作る——映像と音楽がシンクロしながら最終的なゴールに向かうのが僕の理想ですね。

「がほしい」というときに、曲名が決まっているんです。その付け方も「○○のテーマ」だとか、シンプルで絶妙。石井 曲の方向性って感覚的なものだけだと、僕は音楽の専門家じゃないから細かいニュアンスを上手に表現するのが難しい。曲名は「僕の感覚」を的確に伝え、共有するために必要なんです。

渡邊 最初の話と矛盾するけど、映画を見る人の感情や共感に音楽が影響しすぎないことも大事ですよ。石井 映像に対する音楽の一番のデメリットは観客の思考力を奪うことなんじゃないかなと最近思うんです。例えば、人が死ぬシーンに悲しい音楽を当てながら「人が死ぬって悲しただけなんだろうか」と自問する。世の中っているいろな

要素で成り立っているはずなのに一つの色に染めていいのになって。もっと言うと「何も鳴らない」ことも音楽なのかもしれません。渡邊 音楽が終わった後のセリフって、耳に飛び込んでくるんですよ。あえて「音楽を入れない」という選択をして、セリフを印象的に際立たせたりもします。石井 音量も大事。「舟を編む」で流れる「馬蹄光也のテーマ」も、大きな音量で流すと馬蹄の芯の強さみたいなものが浮きあがって、勇ましくなりすぎる部分もあった。入りだけは小さいボリュームで始めたりもしましたね。

渡邊 実際は「舟を編む」の制作期間中、曲作りに没頭しすぎて最後の仕上げ2か月ぐらいの記憶がほとんどないんです。モノづくりの過程につきものの「苦しいけど気持ちいい」みたいな感覚なんだけど、この映画はそういうところもしっかり描いてますよね。石井 僕は映画って人生になくてもいい「無駄なもの」だと思ってます。だけど、そういう無駄なものに本気を出す、人生をかけて一生懸命打ち込むことに価値があるんじゃないかな。そう思えば音楽って人生に必要ですよ。音楽がなると生きていけないんでしょうね。渡邊 ミュージッククリエーション専攻で学ぶ知識や技術は作曲家にならずともさまざまなところで応用が利くもの。音楽産業に興味がある人は、まずはこの専攻でモノづくりの醍醐味を味わってほしいですね。

YUYA ISHII

大阪芸術大学の卒業制作として撮影した「剥き出しにっぼん」が第29回びんがフィルムフェスティバルでグランプリを受賞。2013年公開の「舟を編む」では史上最年少の30歳でアカデミー賞外国語映画部門日本代表作品に選出される。また、日本アカデミー賞最優秀作品賞や最優秀監督賞なども受賞。その後も、「ぼくたちの家族」や「バンクーバーの朝日」などの長編作品を手がけ、高い評価を得ている。



2012年本屋大賞に輝いた三浦しをんの小説が原作。ある出版社の寄せ集め編集部が、気の遠くなるような歳月をかけて二十数万語が収録された新辞書作りに挑む姿をユーモラスに描く。

【舟を編む】
DVD & ブルーレイ好評発売中
(c)2013「舟を編む」製作委員会

TAKASHI WATANABE

2006年大阪音楽大学短期大学部作曲専攻卒業。「舟を編む」で日本アカデミー賞最優秀音楽賞受賞。映画、CMなどの映像音楽をはじめ、室内楽コンサート用に楽曲を書き下ろすなど幅広い活動を続けている。2016年からミュージッククリエーション専攻の特任准教授に就任予定。

Power
Music

ミュージック
クリエーション専攻
特別対談

石井裕也 × 渡邊崇

●映画監督

●特任准教授



“ゾクゾクするような緊張感と、ライブの主導権を握る快感。”



1.レコーディングスタジオのステータスシンボルともいえるSolid State Logic社のミキサー卓。これだけの規模を揃えているのは大阪でも数えるほどだそうです。2.[三枝夕夏 IN db]でベースを7年担当。エンジニアと並行しての活動はハードでしたが、裏方だけでなく演奏家目線でもライブを見ることができるようになったのはいい経験だったと思います。



TAKU OYABU

「スピーカーの前で仕事がしたい」という思いから、96年に株式会社ギザにレコーディングエンジニアとして入社。バンド経験を生かし[三枝夕夏 IN db]のベーシストとして活動した他に、レコーディングエンジニアとして多くのミュージシャンのレコーディングに携わる。またマニピュレーターとしてZARD、稲葉浩志、倉木麻衣、GARNET CROWなどのアーティストのライブに多く参加している。

Power of Music
音楽をつくる達人
ミュージッククリエーション専攻

②
[マニピュレーター]

株式会社ギザ
チーフ サウンドエンジニア
大藪 拓さん

「これだけはやっておこう！」

たくさん曲を聴くこと。好きなジャンルを掘り下げて聴くのもいいですが、アイデアの引き出しを増やすためにも、まんべんなくいろいろなジャンルの曲を聴きましょう。たくさん聴いていると、コード進行の共通性などヒット曲のツボみたいなものが見えてくるかもしれません。

「新専攻にひとこと」

ミュージッククリエーション専攻で全学生に支給されるProToolsは音楽編集に一番便利な道具です。ただし、あくまでも道具に過ぎませんので、使いこなすまでに時間がかかるのはもったいない。ProToolsを使ってどんな音を表現したいか、イメージの引き出しをたくさん持つことにも時間をかけてほしいですね。

「マニピュレーター」とは、楽曲を作る際、実際の演奏者だけでは賅えない楽器のパート音源をコンピュータでプログラミングし、補う役割です。私の場合はライブ会場でのマニピュレーターが中心。ProToolsを持ち込んで、あらかじめ編集した音源データを流して、バンド演奏の一部として加わるというポジションです。

音源は5分の曲なら5分間をキッチリ作ってあるので、バンドメンバーは音源に合わせて演奏する必要があります。そのため、曲を始めるタイミングはマニピュレーターからドラマーに送る合図(クリック)で決まります。一度曲が始まってしまえば、あとはレベルに乗って演奏するだけ。最近のライブでは、ミュージシャンが主導しているように見えても実はマニピュレーターが主導権を握っているんです。アーティストのMC

が終わるタイミングを読み、間、ができないように自然に曲を再現させるのが腕の見せどころ。存在感が出てはいけませんが、「何千人、何万人の人が聴く曲の主導権を握っているのは俺だ」という感覚がモチベーションになりますね。ライブでは20曲ほど演奏しますが、曲順を間違えてクリックしてしまうと大事故になります。約2時間、ゾクゾクするほどの緊張感をもって挑まなければなりません。

一番達成感を感じるのは何事もなく無事にライブが終わったとき。何事もないのが当たり前なので、誰かに褒められるということもないんですが、その瞬間だけは音源データが完成するまでの苦労も吹き飛びますね。そういう意味では地道にコツコツという作業をいとわれない、真方稼業を目指す人にピッタリの仕事かもしれません。

「これだけはやっておこう！」

食わず嫌いせずに生の音楽や映画にできるだけたくさん触れてほしいです。聴くことや観ることは自分の幅を広げるように思えて、実は「好きなもの」「得意なこと」の絞り込みにつながります。オールマイティにできる人を目指すのもひとつですが、得意なもの、好きなものを明確にすることも大事だと思います。

「新専攻にひとこと」

技術知識は入り口だけでも相当な情報量。4年あればひとりは身に付けられるかもしれませんが、最終的には本人のやる気次第だと思います。学校での座学だけでなく、実際のスタジオでインターンとして実践的に学ぶカリキュラムがあれば将来のビジョンもより明確になるかもしれませんね。

一般的にはあまり知られていませんが、ミュージシャンや歌手の音源を録音し、音楽を形にする仕事です。単に録音するだけでなく、アーティストの「こういうイメージの曲」「こういう感じで残したい」という感覚を基にさまざまな音源のバランスを調整して作品として仕上げる役割です。

「エンジニア」という肩書きなので機械をいじることが仕事と思われることもありますが、機械はあくまでもイメージを具現化するための道具。どんなに高い機材やマイクを揃えても、演奏家に気持ちよく演奏してもらえなければいい音楽にはなりません。

目には見えない「音楽」を思い通りの曲に仕上げるためには、アーティストとの密な「コミュニケーション」の中からイメージの共有をしていくことが何より大切です。そうしてできた作品が「イメージ通り！」もしくは「イメージを超えた！」と言われたときは最高に

うれしい瞬間です。

日本文学を学んでいた大学時代友人の影響で通っていたオールディーズのライブハウスで音響に興味を持ち、この業界を志しました。周囲からは年齢的にも「無理じゃない？」と言われていましたが、「これだ！」と決めてからはまっしぐら。20代の頃はスタジオにいた記憶がありません(笑)。

当時は音楽ができていくプロセスに立ち会えていることが面白かったです。音楽は譜面通りに演奏すればいい曲になるというものではなく、人間同士のぶつかり合い、セッションの中でできていくもの。作曲した自身が想像していなかった方向に行っていることもある。そこで起こる、化学変化、を体験できたのはいい経験でした。

オーディエンスから直接評価をいただくことはほとんどない仕事ですが、アーティストの「イメージを超える音」を求めて日々奮闘中



1.機械に関するマニアックな話も面白いですが、機械に詳しいだけではできない仕事です。2.弦楽器の録音をする際に使うマイク。楽器の音だけでなく、空気感も録れるぐらい精度が高いですが、値段も高い(笑)。

Power of Music
音楽をつくる達人
ミュージッククリエーション専攻

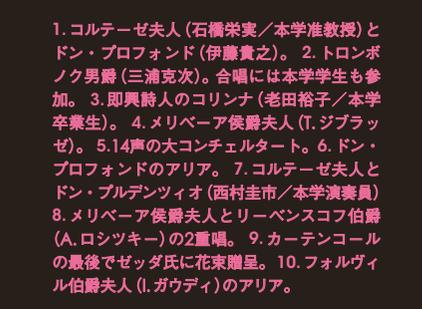
①
[レコーディングエンジニア]

株式会社アーティストウリー・メディア
片倉麻美子さん



MAMIKO KATAKURA
97年、(株)ミキサーズラボ入社後ON AIR麻布スタジオに配属。日本のポップス、ロック、劇伴などの作品を手がけ、07年度からはフリーランスに。13年には(株)アーティストウリー・メディアに仲間入りし、映画の音の世界全体に勉強の幅を広げている。

“アーティストのイメージを超える最高の瞬間を求めて。”



1. コルテーゼ夫人(石橋栄実/本学准教授)とドン・プロフォンド(伊藤貴之)。2. トロンボノク男爵(三浦克次)。合唱には本学学生も参加。3. 即興詩人のコリンナ(老田裕子/本学卒業生)。4. メリベア侯爵夫人(T.ジブラッゼ)。5. 14声の大コンチェルト。6. ドン・プロフォンドのアリア。7. コルテーゼ夫人とドン・ブルデンツィオ(西村圭市/本学演奏員) 8. メリベア侯爵夫人とリーベンスコフ伯爵(A.ロジツキー)の2重唱。9. カーテンコールの最後でゼツダ氏に花束贈呈。10. フォルヴェル伯爵夫人(I.ガウティ)のアリア。



大阪国際フェスティバル オペラ「ランスへの旅」 ロッシーニの伝道師、 マエストロ・ゼツダの手で 祝典的オペラを上演。

4月18日にフェスティバルホールで開催された第53回大阪国際フェスティバル2015において、大阪音楽大学創立100周年を記念しイタリア・ベルカント・オペラの金字塔「ランスへの旅」を上演しました。

オペラ「ランスへの旅」は、G・ロッシーニがフランス国王シャルル10世戴冠式のために作曲した祝典的オペラ。17人ものソリストを要し、華麗な装飾と超絶技巧を駆使したアリアや、14重唱にまで及ぶアンサンブルと、ロッシーニの醍醐味が詰め込まれた作品です。

今回は87歳の巨匠アルベルト・ゼツダが外国人歌手や、藤原歌劇団、本学教員、卒業生、学生などから成るキャスト、合唱団とともにこの作品を上演。松本重孝氏の新演出で、ローマのテルメ(温泉)をイメージした舞台でロッシーニ音楽が繰り広げられました。本学学生は合唱として出演しただけでなく、ソリストのカバーキャストも務めました。ゼツダ氏はベザロイタリアのロッシーニ・オペラ・フェスティバル芸術監督を務め、「ロッシーニの神様」と世界が敬愛する指揮者。歌い手やオーケストラのザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団も、ゼツダ氏の指揮によりロッシーニの色彩溢れる音楽を奏で、華やかな饗宴となりました。

アルベルト・ゼツダ氏に 特別名誉教授の称号を贈呈



本学学生にも熱い指導をしてくださったゼツダ氏に、歴代4人目となる「特別名誉教授」の称号を贈呈しました。ゼツダ氏は今回参加している歌手たちの質の高さ、舞台裏スタッフのプロの仕事にも大変感心され、「ぜひ、また戻ってきたい」と、嬉しそうに話されました。



ゼツダ氏の直筆メッセージ「私を皆様方のこの美しい大学の一員にと、望んで下さった名誉に対し、この上ない感謝を申しあげます(アルベルト・ゼツダ)」。



教職



橋本龍雄 教授

ミュージカル



松田ひろ子 准教授

管弦打(ヴァイオリン)



日比浩一 特任教授

声楽



幸田浩子 特任准教授

New Teachers

個性豊かな教員が大音へ加わりました。

今年度から教授・准教授になられた教員と、新たに着任された45人の先生方を紹介します。

声楽



林美智子 特任准教授

声楽



望月哲也 特任准教授

管弦打(指揮)



新通英洋 特任准教授

声楽(演出)



粟國 淳 客員教授

声楽(演出)



井原広樹 客員教授

声楽(演出)



岩田達宗 客員教授

邦楽(尺八)



三橋貴風 客員教授

声楽



中村恵理 客員准教授

講師

- 山口冴子(教養教育)
- 久保田テツ(音楽学)
- 岡本佐紀子(声楽)
- 尾崎比佐子(声楽)
- 鎌田史子(声楽)
- 唐谷裕子(声楽・演出)
- 雁木悟(声楽)
- 熊本佳永(声楽)
- 児玉祐子(声楽)
- 清水徹太郎(声楽)
- 関口康祐(声楽・コレペティートル)
- 福原寿美枝(声楽)
- 藤田卓也(声楽)
- 河瀬 諭(ピアノ)
- 棚田都美子(ピアノ)
- 松田修司(ピアノ)
- 倉橋日出夫(管・ファゴット)
- 里屋 幸(弦・ヴァイオリン)
- 清水 明(管・オーボエ)
- 高鍋 歩(打・打楽器)
- 中井信輔(管・トロンボーン)
- 中西 順(管・ホルン)
- 松田貴之(管・トランペット)
- 柳生厚彦(弦・ヴィオラ)
- 広瀬未来(ジャズ)
- 安斎ゆう子(ホビュラー)
- 鈴木喬子(ミュージカル)
- 吉阪 一郎(大学院)
- 左鴻泰弘(大学院)
- 谷口正壽(大学院)
- 原 真奈美(大学院)
- 帆足正規(大学院)
- 前川光長(大学院)
- 矢崎真理(大学院)

幼少期から「演じる」ことが大好き。オペラ歌手は「天職」



MUSE 一大音教員の熱き思い CONCERTO

01 声楽・教授 晴 雅彦

MASAHIKO HARE 大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒。小学校時代に入団した少年少女合唱団で頭角を現す。大学卒業後、ドイツ・ベルリンへの留学を経て、以来国内外の多数の舞台に立つ。持ち前のユーモアとバイタリティーを武器にテレビやラジオなど幅広いメディアで活躍する。

夢のレッスン室 初公開!!

昨年引っ越した自宅マンションに念願のレッスン室を設えました。もう音楽教室巡りをする必要がなく、練習が終わればすぐにお風呂に入れる最高の環境です。



親から「あなたはしゃべるより先に歌い出した」と言われるように、物心がついたときには歌が私の人生の一部になっていました。高校時代は文化祭で手作りの衣装を着て松田聖子のメドレーを歌ったり、ラジオ番組の歌謡選手権で勝ち抜いたことも。「とにかく歌が歌いたい」と選んだ進路は、当時からダントツにレベルが高かった大阪音楽大学声楽学科。ここでオペラと出会い、夢中になりました。元々「演じる」ことが大好きな私にとって、役を演じながら歌うことは、天職のようなもの。「もっと上手になりたい」という一心でここまで来ました。学生を指導する上でいつも考えているのは「この子たちの20〜30年後のために何が必要か」ということ。オペラ歌手としてデビューするために今の年齢で何をしておくべきか、私自身がオペラ歌手として活動する中で感じていることを伝えたい。時には「基本ばかりの繰り返し」で苦しむこともあると思います。

「後悔しないために忍耐強く」と厳しく接しています。その一方で、いざ世界で活動することを見据えると「私はこう思う」という自己主張ができることも大事。上から目線の指導ではなく気軽に意見交換できる関係も大切にしています。学生は夢をかけて生きています。たちなので、やんちゃなだけとかわい。試験や本番の時なんて「大丈夫かなあ」とって、心配で眠れないこともあるぐらい。教える私も常に真剣勝負です、ステージに立つのと同じぐらいエンジン回しています。それだけ濃密な時間を過ごしていると卒業試験がたまりません(笑)。一緒に戦ってきた仲間みたいな感じもするし、親子みたいな感じもする。「こんな歌えるようになったんだな」と思うと泣けてくる。こうして真剣に学生と向き合いながら共に成長していく幸せを味わっています。これからも学生たちの夢と一緒に向き合っていきたいです。

07

キラリ★輝く大音の星

各種コンクールで受賞された皆さんの喜びの声をご紹介。



川邊由布子 (院2・ピアノ)
第2回津山音楽コンクール
全部門 第3位

▶2015年3月8日 ベルフォーレ津山

この度、このような賞を頂くことができ、大変嬉しく思っています。これからご指導くださった先生方をはじめ、支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに日々精進していきたいと思います。



宮北紗絵子 (00年短卒・ピアノ)
第17回“万里の長城杯”国際音楽コンクール
ピアノ部門一般の部B 第3位

▶2015年3月22日 弁天町ORC200生涯学習センター

今回の受賞を大変嬉しく思っています。私を理解し、支えてくれる家族と、このような機会を与えて頂き、指導をくださった恩師に心より感謝申し上げます。



取田悠希 (大3・ヴァイオリン)
第17回“万里の長城杯”国際音楽コンクール
弦楽器部門大学の部 第2位(1位なし)

▶2015年3月22日 弁天町ORC200生涯学習センター

秋から冬、そして春へと練習し続けたサン・サーンス。このような賞を頂き、20歳の思い出となる一曲になりました。我慢強く教えてくださる先生方、切磋琢磨してくれる友人たちに本当に感謝しています。



若杉 亮 (大4・ピアノ)
第35回来音会ピアノコンクール
F級 第2位・来音会賞

▶2015年3月27日 池田市民文化会館

コンクールという緊張の舞台上、自分を解放させ、遊び心いっぱいドビュッシーの楽曲を演奏しました。まだまだ演奏には未熟な面がありますが、この入賞をきっかけにさらに日々の練習に励み、一歩ずつ前進していきます。



真下佳奈子 (13年大専修・ピアノ) / 真下菜穂子 (11年大専修・ピアノ)
第31回愛知ピアノコンクール
連弾・2台ピアノ部門2台自由曲シニアの部 銀賞

▶2015年4月26日 知立リリオ・コンサートホール

規模の大きな曲目に挑戦し、アンサンブルの奥深さや面白さを再認識する事ができました。それと同時にたくさんの課題も見つかり、デュオの難しさも痛感しました。これからも姉妹ならではの音楽を追求し、高めていきたいと思います。

05



猪居亜美
(大4・クラシックギター)が
デビューCDを発売

大4・クラシックギター専攻生の猪居亜美さんが、デビューCDを発売されました。5月から名古屋、東京、大阪、札幌と各地で兄の猪居謙さんとジョイントリサイタルを開催され、これからの活躍が期待されています。雑誌「現代ギター」6月号でも兄妹で表紙を飾り、CD制作についての興味深いインタビューが掲載されています。

猪居亜美 / Black Star ¥2700(税抜)
フォンテックFOCD9672

06



管打楽器専攻生
21名が「桜花賞」で
ファンファーレを生演奏

4月12日にJRA阪神競馬場で行われた第75回「桜花賞」にて、本学管打楽器専攻生21名が発走ファンファーレを生演奏しました。同賞は美しい桜の下での発走にも毎年注目が集まりますが、華やかなGIレースを盛り上げる一翼を担いました。本学にとっても、創立100周年を記念する今年度の幕開けにふさわしい出来事となりました。

01



日本高等教育評価機構
機関別認証評価
大学・短期大学部ともに
「適合」の認定

大阪音楽大学および大阪音楽大学短期大学部は、平成26(2014)年度(財)日本高等教育評価機構による認証評価の結果、2015年3月26日付で評価機構が定める評価基準にいずれも「適合」していると認定されました。本学が評価された点には次のようなものがあります。(※公益財団法人日本高等教育評価機構による評価報告書より一部抜粋)

「認証評価」とは？ 2004年4月1日からすべての大学、短期大学及び高等専門学校は、その教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備等の総合的な状況に関し、政令で定める期間(7年以内)ごとに文部科学大臣が認証する評価機関(「認証評価機関」)の実施する評価を受けることが義務付けられています。(学校教育法第109条第2項)

大学教育は建学の精神の使命・目的に基づいて行われ、学修と教授においてもさまざまな創意工夫のもとに運営されている。

徹底した予算管理で、安定した財務基盤の確立と収支のバランスの確保を行っている。

20年以上の歴史を持ち幅広い年代を対象にする公開講座の推進、更に2度にわたる文化庁芸術祭大賞の受賞など多くの受賞歴を誇る「ザ・カレッジ・オペラハウス」での27年にわたる公演などは地域社会から高く評価されている。

豊中市の文化芸術推進プランと連携した組織的な地域貢献活動は、大阪府内の4市にまで広がり、関西における唯一の音楽大学としての社会的な使命を十分に果たしている。

04



第1回豊中音楽コンクール

5月30日、31日の両日、第1回豊中音楽コンクール(主催:豊中市、共催:大阪音楽大学)が本学にて行われました。このコンクールは、「次代を担う優れた演奏家を発掘・育成し、音楽文化の振興を図ることを目的として開催」するもので、高校の部、大学・一般の部ともに多くの応募がありました。ザ・カレッジ・オペラハウスでの本選では90名の市民審査員による審査も行われ、ピアノ部門、声楽部門、管弦打楽器部門の3部門ともに白熱した演奏が聴かれました。上位入賞者は11月7日のとよなか音楽月間「第1回豊中音楽コンクール受賞者記念コンサート」に出演されます。

03



ファブリツィオ・メローニ
マスタークラス&リサイタル
を開催!

創立100周年記念プロジェクトの一環として、7月11日(土) 14時からミレニアムホールで「ファブリツィオ・メローニマスタークラス&リサイタル」を開催いたします。ミラノ・スカラ座管弦楽団の首席クラリネット奏者であるファブリツィオ・メローニ氏と、ミラノ在住の実力派日本人ピアニスト吉川隆弘氏による演奏をお楽しみください。お申込みは大阪音楽大学コンサート・センター(06-6334-2242)または大学ホームページをご覧ください。

02



第12回
ザ・ローレル・コンサート

2014年度大阪音楽大学音楽学部最優秀賞受賞者が出演する「第12回ザ・ローレル・コンサート」が5月29日にザ・カレッジ・オペラハウスにて行われました。声楽専攻(ソプラノ)の脇阪法子さん、ピアノ専攻の坂本言葉さん、管楽器専攻(クラリネット)の山下真理奈さんの3名がそれぞれ演奏し、作品に真摯に取り組み、情熱をもって伝えようとする気持ちに溢れた演奏には、客席から惜しみない拍手が送られました。

11

CONCERT SCHEDULE 演奏会やオペラなど、大音関連のイベントを紹介。

OH: ザ・カレッジ・オペラハウス MH: ミレニアムホール ※必ず主催者発表のもの照会してください。

大阪音楽大学主催公演

お問い合わせ
大阪音楽大学コンサート・センター
TEL: 06-6334-2242
http://daion.ac.jp

第45回 ミレニアム・スチューデント・コンサート
6/15(月)、18(木)、19(金) 18:00~ ●MH ●無料(要整理券)

第3回ミレニアムピアノコンサート
7/2(木) 17:15~ ●独奏: 北野裕司、2台4手: 小笠原順子/松本昌敏、横田知子/油井美加子 ●MH ●無料

創立100周年記念プロジェクト
ファブリック・メロニー クラリネット
マスタークラス&リサイタル
7/11(土) 14:00~ ●MH ●一般2000円、高校生以下1000円

第4回ミレニアムピアノコンサート
9/15(火) 17:15~ ●西本由香、鳥居知行、油井美加子 ●MH ●無料

創立100周年記念特別演奏会
L.V. ベートーヴェン 交響曲第9番
二短調作品125「合唱付き」
10/15(木) 17:30~ ●指揮: 西本智実、ソプラノ: 石橋崇実、アルト: 竹本節子、テノール: 望月哲也、バリトン: 田中勉 他 ●フェスティバルホール ●A席5000円、B席3000円、高校生以下1000円(全指定席)

創立100周年記念オペラ公演
G.ヴェルディ 歌劇「ファルスタフ」
10/30(金)18:00~、11/1(日)14:00~ ●指揮: 下野竜也、演出: 岩田達宗、ファルスタフ: 田中勉、フォード: 晴雅彦、アリーチェ: 松田昌恵、ナンネッタ: 石橋崇実、フェントン: 清水徹太郎、クイックリー: 荒田祐子、メグ: 並河寿美、カウス: 清原邦仁、バルドルフォ: 小林峻、ピストラー: 松森治 他 ●OH ●A席10000円、B席8000円、高校生以下3000円

(全指定席)

大阪音楽大学後援演奏会

増井一友 ギターコンサートVol.15
6/24(木) 19:00~ ●増井一友 ●西宮市甲東ホール ●1000円 ●050-3497-0294(夙川ギター倶楽部)

Histoires Naturelles
~動物にまつわる歌~
6/28(日) 14:00~ ●高津綾子、藤川晃史、藤本紀子 ●西安寺 ●一般1500円、小・中・高校生500円 ●090-3925-1818(高津)

ストリングアンサンブル ラ・フォンテーヌ
特別演奏会 ヴァイオリニスト
ノブニー氏を迎えて
7/1(水) 19:00~ ●フランティシェック・ノボトニー、林泉 ●豊中市立アーク文化ホール ●一般2500円(当日3000円)、高校生以下1500円(当日2000円) ●0798-45-2153(林)

フルーツ・パフェ第1回演奏会
7/3(金) 19:00~ ●大江浩志、久保田裕美、山下麻美、大賀有紗 他 ●子午線ホール(アスピア明石北館9階) ●一般2000円(当日2500円)、学生1000円(当日1500円) ●090-7885-8612(大江)

木管アンサンブルBACCCHUS vol.3
7/27(月) 19:00~ ●石橋輝樹、佛田明希子、上田浩子、小椋順二、首藤元、藤井快哉 ●島之内教会 ●一般3000円(当日3500円)、学生1500円 ●06-6377-1117(ドルチェ楽器)

フレンドシップ ガラ・コンサート2015
8/2(日) 14:00~ ●安谷万佑子、伊賀美樹子、石橋文恵、藤田加代子、坂上夏輝、金川知子、伊藤萌 ●茨木市民総合センター クリエイトセンターホール ●一般1500円(当日2000円)、小学生以下500円

●FAX: 0797-57-0643(地球音楽隊「フレンドシップ」事務局)

二星美紀 諏訪部匡司
ジョイントコンサートVol.3
8/14(金) 14:00~ ●兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール ●一般2000円(当日2500円)、小・中学生500円 ●090-9706-7522(諏訪部)

みやこオペラ京都
第3回定期公演 歌劇「魔笛」
8/23(日) 13:00~ ●指揮: 金丸克己、演出: 澤脇達晴、ピアノ: 西尾麻貴、キャスト: 木戸健太、小林峻、西村明浩、柴山愛、藤村江李奈、山咲響、川田理紗、前田満、奥野麻琴、白石優子、中原由美子、澤真紀、喜多ゆり、席定真弓 ●伊丹アイフォニックホール ●4000円(当日4500円) ●090-3942-4960(金丸)

兵士の物語
9/9(水) 14:00~、19:00~ ●語り: 木内晶子、兵士: 真田幹也、悪魔: 野村たかし ●上田浩子、高鍋歩、首藤元、村井博之、西馬健史、萩原合敏、長谷川順子 ●神戸文化ホール中ホール ●一般3500円、学生(大学生以下)1500円 ●078-351-3349(神戸文化ホールプレイガイド)

幸楽会奈良支部 大阪音楽大学
創立100周年記念コンサート
9/13(日) 13:00~、18:00~ ●小川順子、北村美奈子、湯浅契、村田宜子、須崎希容、勝斎治美 他 ●なら100年会館中ホール ●2500円(第一部/第二部入替制) ●0743-78-7695(記念コンサート実行委員会事務局)

学生自主演奏会

Musica Gilda JOINT CONCERT-
9/12(土) 15:00~ ●MH ●無料 ●080-4761-6820(乾)
プロコフィエフ《ピアノ・ソナタ第6番》

や、ブラームス《ヘンデルの主題による変奏曲とフーガ》など大規模な作品に挑戦します。他にもまだまだ難曲が並び、チャレンジ精神に富んだ演奏会だと思います。是非お越しください。

幸楽会後援演奏会

ミ・ベモル サクソフォンアンサンブル
プレミアムコンサート
6/27(土) 19:00~ ●阿倍野区民センター小ホール ●3500円 ●090-1240-9907(ミ・ベモル事務局)

うた Keiko Kazumori
Soprano Recital
7/24(金) 19:00~ ●計盛恵子、丸山耕路 ●ザ・フェニックスホール ●一般3500円、学生2000円 ●kazu.recital@gmail.com(計盛)

山中雅博 テノールリサイタル
8/1(土) 14:00~ ●山中雅博、増田敏子 ●ザ・フェニックスホール ●3000円(当日3300円) ●FAX: 072-683-1218(増田)

メゾソプラノ ジョイント リサイタル
~ウィーンとザルツブルクの風にのせて~
8/5(水) 19:00~ ●馬場菜穂子、原陽子、ミハエル・ロート ●阿倍野区民センター小ホール ●一般2000円、学生1500円 ●twotimes.mezzo@gmail.com

ピアノ弾き語り HIRO
~ハートフルコンサート~
8/16(日) 15:30~ ●HIRO、なりかわあきよ、田中良太 ●大丸心齋橋劇場(大丸心齋橋店北館14階) ●2800円(当日3300円) ●06-6613-3611(にしう)

安川忠之 テノールリサイタル
8/23(日) 15:00~ ●安川忠之、益盛秀子 ●アルカディア・グレースホール ●3000円 ●0797-34-4333(公益財団法人アルカディア音楽芸術財団)

10

NEW RELEASE

大音関係者がリリースしたCD・本・楽譜などを紹介。



BOOK

大森香奈(07年院修・打楽器)
「夢」に向かって…
1500円(税抜) HCO MUSIC
http://kana-mallets.shop-pro.jp/
たつみ書店(サンタウンプラザ すずらん館)
0742-71-7803



BOOK

西川悟平(95年短卒・ピアノ)
7本指のピアニスト
1500円(税抜) 朝日新聞出版
全国の書店、amazon 他



BOOK

井口淳子 共著(教授・音楽学)
上海租界の劇場文化
混濁・雑居する多言語空間
2400円(税抜) 勉誠出版
全国の書店、amazon 他



BOOK

仲道郁代(特任教授・ピアノ)
ピアニストはおもしろい
2000円(税抜) 春秋社
全国の書店、amazon 他



CD

鈴木孝紀(講師・クラリネット)
COLLAGE
2500円(税込)
TimeMachine Record
www.takanorisuzuki.netおよびamazon 他
iTunes Storeでも販売開始予定



CD

木田雅子(特任准教授・ヴァイオリン)
朝の歌
3000円(税込)
Vecchio BOSCO Label
www.boscomusic.com
および amazon 他

前号vol.233に掲載したNEW リリース欄に誤りがありました。正しくは以下の通りです。福代永子さんCDタイトル (誤)「maman」→(正)「mamma」です。読者の皆様、関係各位にご迷惑をおかけしましたことお詫言申し上げます。

08



ミュージカル「寝屋のはちかづき」オーディション参加者を募集

本学と包括連携協定を締結している寝屋川市では、2016年2月に開催するミュージカル「寝屋のはちかづき」の出演者オーディションの参加者を募集しています。演出・脚本は中村暁(宝塚歌劇)、本学の北浜竜也講師が振付を、森本友紀講師が音楽監督を務めるこのミュージカルは、市内に伝わる民話「はちかづき姫」を題材にされたものです。オーディションは(1)歌唱・演技部門(2)ダンス部門の2部門があり、応募締切りは6月30日(火)必着です。募集要項など詳細は、寝屋川市ホームページをご覧ください。(ミュージカル「寝屋のはちかづき」で検索)

09



社会人学生のススメ

「もう一度大学で学びたい!」と考えたことがある社会人の方はいらっしゃいませんか? 本学では、より学びやすい環境を社会人の方に提供するため、通常2年で卒業する短大を3年または4年をかけて計画的に学ぶ「長期履修学生制度」を設けています(短大のみ。ミュージカル・コースを除く)。現在仕事を持っているなどの理由で2年間での卒業が難しい場合、この「長期履修学生制度」を利用することにより、短大卒業が可能になるかもしれません! 詳細については、出願期間前までに入試センター(入試専用フリーコール: 0120-414-015)までお問い合わせください。

ON-AR

MUSE オリジナル動画を見よう!

まずはアプリ(無料)をダウンロード!



Google play iTunes App Store

スマートフォンを上記のマークの付いた写真にさすと動画を見ることができます。アプリ(無料)をダウンロードして、オリジナル動画を見よう!

最新情報を配信中!

右記のSNS 配信サービスでも大音情報をチェックできます。



●編集後記

いよいよ創立100周年の年を迎えました。今年度は100周年記念イベントが目白押し。Museも、今号からリニューアルします。「新専攻スタート特別企画」のページには、音楽の達人として様々な方に登場いただきました。これからも時代とともに進化していく大阪音大を、みなさまのもとにお届けしていきます。

引っ越しなどで住所が変わり「Muse」が転送されている方がいらっしゃいましたら、現在の正しい住所を大学へお知らせください。郵便局の転送サービスは期間が終わると配達されなくなります。メール(muse@daion.ac.jp)かFAX(06-6334-2141)で連絡をお願いします。

次号は9月15日発行予定です。